

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	千葉大学	整理番号	F - 2
拠点のプログラム名称	消化器扁平上皮癌の最先端多戦略治療拠点		
中核となる専攻等名	医学薬学府先進医療科学専攻		
事業推進担当者	(リ-ダ- )丹沢 秀樹 外7名		
<p>( 拠点形成の概要 )</p> <p>消化器扁平上皮癌 ( 食道・咽頭・口腔癌 ) は、近年QOLを重視した治療法が求められている。千葉大学は、放射線医学総合研究所・千葉県がんセンターとの協力のもとに多くの治療実績があり、国内的にも国際的にも中心的役割を果たしてきた。本拠点は、多施設・多分野と一体となり、本疾患に対する遺伝子制御治療法の開発と人材育成を行う。1) 世界初の食道癌遺伝子治療の臨床研究と特許技術を発展させて、腫瘍融解型ウイルスを含めた多種類の新規遺伝子治療法を開発する。2) 独自の疾患特異的完全長cDNAライブラリーに対応したマイクロアレイに基づく包括的遺伝子解析を行い、世界唯一の治療実績のある重粒子線療法を含めた遺伝子制御治療を行う。3) 遺伝子工学を用いた分子腫瘍マーカーの開発により癌の早期発見を可能とする。4) 本拠点を通して大学院 ( 医学薬学府 ) において遺伝子医療に精通した人材育成を行う。</p>			
<p>( 採択理由 )</p> <p>消化器扁平上皮癌治療に焦点を当てた拠点形成の計画で、遺伝子治療、粒子線治療に独自の研究を展開しており、実績を上げていることが評価できる。粒子線治療については放射線医学総合研究所との連携がよくとれており、この方面での国際的研究、教育拠点を形成することが期待できる。</p>			